

## 未来へつなごう美小の笑顔

校長 畠山 真

夏至が過ぎ、日一日と夏の日差しが照りつけるようになりました。花壇のひまわりや野菜やアサガオも大きく成長してきました。7月は、文月や七夕月とも言い、2日は半夏生（はんげしょう）と言って田植えが終わる頃とされ、まもなく夏本番を迎えます。急に暑くなり熱中症には十分気を付けていきたいです。

6月は、スポーツテストやオーケストラコンサートも行われ、子どもたちが熱心に聴き入っていました。交通安全教室も1・4年生を中心に行われ、安全な歩行のしかたや自転車の乗り方について、青葉警察の方から話を伺いました。

20日には不審者侵入訓練が行われました。この訓練は、毎月実施している避難訓練とは別に、学校の敷地内に不審者が出現したということを想定して実施しました。こちら青葉警察の方に不審者になっていただき、雨の中傘もささずに不審者になりきり、とても迫力のある演技で、その後子どもたちに不審者への対応の仕方等分かりやすく話をさせていただきました。

また、オーケストラコンサートが行われた日、丁度震度6弱の地震が大阪を中心にあり、演奏していただいた日本センチュリー楽団の方は大阪出身の方が多く、家族の安否等とても心配だったと思います。それにも拘わらず子どもたちのために一生懸命に演奏された姿に胸が熱くなりました。亡くなられた方や被害に遭われた方々には心よりお悔み申し上げます。その時地震で犠牲になった女の子が塀の下敷きになり亡くなり、塀に問題があったということで文科省から全国の学校で調査するようという通知がありました。本校は、学校の周りにはほとんどコンクリートの塀はないのですが、プールのシャワーの塀は大丈夫かとの問い合わせが保護者からありましたが、横浜市教育委員会施設課の調べで、鉄筋コンクリートでできているので大丈夫とのことでした。いずれにしても、いつ大きな地震が起きてもよいように、普段から避難訓練で備えておきたいと思います。

さて、50周年記念式典・祝賀会では多くの方の出席をいただき、華やかな中で行うことができ、感謝申し上げます。午前中のこども集会では、各委員会の発表や各学年の発表が行われ、子どもたちが生き生きと発表していました。子ども実行委員会で決めたテーマ、「未来へつなごう、美小の笑顔」も発表され子どもたちが将来にわたって美小の笑顔を繋げていきたいという気持ちがとても伝わってきて、すばらしいテーマだと改めて思いました。

午後は、記念式典と祝賀会が行われました。200名ほどの招待者が来られ、代表の来賓の方から本校の50周年を祝い、心温まる言葉をいただきました。多くの方から立派な50周年ですねと言われたのですが、特にお母さん方の動きがすばらしいですとお褒めの言葉をいただきました。北部の所長からも保護者の方々の連携がとてもよくできていると話されておりました。この日まで実行委員会の方々には事前の準備から当日まで身を粉にして動いていただき、心よりお礼申し上げます。この日の姿も、未来へ語り継がれていくと思いました。